

支援の手だてリスト(具体例)

		④ 説明を聞いて答えよう	
		聞いた内容を理解し記憶しておいて、必要とされる情報を取り出す力	
		全体への支援	より個別的な支援(教材の工夫など)
4	指示の出し方	9) ・注目させる場所、人、物を指差しや図などを使って明確に示す ・注目させる言葉を決めて、提示する ・全員が注目しているのを確認してから指示を出す ・追加の指示を出す場合には、作業や活動を止めてから指示を出す ・話し手に体を向けるなど、集中して聞くことができる姿勢を取らせる 10) ・抽象語を少なくし、具体的な短い指示を出す ・1回の指示では、一つの動作のみ指示する ・全体に出す指示と個別に出す指示を区別して伝える ・声の大きさ、抑揚、速さに気を付ける ・指示代名詞はできるだけ使わない ・「要点を三つ話をします」のように聞きやすい工夫をする	9) ・教師が手をたたき、カウントダウンを始めるなど、注目させるときの合図を学級のルールとして決めておく 10) ・聞き誤りや聞き逃しの多い児童生徒に対しては、そばに行き注目させてから指示を出す
5	教材・教具	11) ・教師の動作や合図などを手がかりとして活用し、分かりやすく伝える 12) ・説明の際には、具体物や写真、図などの手がかりを使い分かりやすく説明する 13) ・ICT機器を使って、視覚情報を加えながら話をする 14) ・話の筋道が分かるようなワークシートを準備する ・大切な部分のみを抜いたワークシートを準備する	11) ・実際の物やカード、映像などを活用する 12) ・聞く意欲を高めるために、録音した声や音を活用する